

オリーブの会通信

2015年3月6日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会

〒760-0078 高松市今新町4丁目20番地

連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)

<http://khj-olive.com/>



第153回月例会ご案内

日 時	2015年3月22日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 (第1・2研修室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	☆一部 13:30~15:00 報告、連絡(役員) ○第2回(拡大)理事会の報告 ○第1回KHJ四国ブロック会議の報告 ~第10回全国大会・香川大会について~ ○2015年度総会開催について 他 ○和歌山県「エルシティオの施設見学」の報告 15:00~15:15 休憩 ☆二部 15:15~16:00 グループ別話し合い 質疑応答等
参 加 費	・会員1家族 1,000円 ・一般の方 1,500円 ・当事者は無料

冬の寒さと春の暖かさが交互にやってくる3月は桃の花ですね。今月の写真はフラワーフェス

ティバルかがわ 2015 で撮影してきました。同時開催のたかまつ食と農のフェスタ 2015 がお目当てでした。オリーブの会に参加して下さった、広野牧場の広野さんが、携わっていらっしゃるフェスティバルなので、今後広野さんたちとオリーブの会、ポパイの会とのつながりの進展も期待し、ポパイの会の一人と行ってみました。広野牧場が経営するジェラテリア MUCCA のジェラートをたべながら、ポパイの若者と楽しいひとときを過ごさせていただきました。

【2月例会（2月22日の概要）】

1 報告・連絡事項

川井理事長

- ・オリーブの会の運営の方針等について、改めて通達された。
 - ① 会員になって、責任を持って行動する。
 - ② 月例会で話されたことは口外しない。
 - ③ 月例会の話し合いでは、批判せず、受容すること。
- ・第11回運営委員会(2月1日)の報告
 - 1. 3月の予定
 - 作業所見学の報告
 - 3月1日(日)第1回KHJ四国ブロック会議
四国ブロックとして第10回全国大会をお受けし準備していく。会場は香川
 - 第2回拡大理事会は、3月1日午前10時から居場所
 - 2. 居場所活動
 - 家族が主で在宅ワークの準備(金封の作成)
オリーブの会の居場所を活用するに当たり地域活動支援センターとして、居場所での活動の実績づくりが必要。手始めに水引を使った金封づくりの在宅ワークの準備を始めた。
 - デッサン講習
 - 3月はポパイの会の活動報告書作成
 - 個人カウンセリングは2月に引き続き中止
 - ひきこもりサポーター登録
終了41名、登録希望者32名
 - 助成金申請について
森村豊明会、一般社団法人全日本冠婚互助協会社会貢献基金の2か所に申請中。申請が通れば、ポパイの会の活動強化、関連設備の充実、居場所支援事業、ひきこもり相談支援事業、全国大会準備事業に充てる予定

2 講演会等の出席者による報告、感想など

- ① 2月17日(火)13:30～平成26年度当事者家族連絡協議会の報告(川井)
講演:障害者差別禁止法について「障害者に対する合理的配慮とは」講師(香川障害フォーラム 森澤事務局長)
当会は障害者団体とは認められていないが、協議会では精神のグループに入っている。

「障害者差別解消法」が制定され、平成 28 年 4 月 1 日施行。

社会的障壁とは、障害のある方にとって、日常生活や社会生活を送る上で障壁となるようなものを指す。

- ①□施設設備（通行、利用しにくい施設、設備など）
- ②□制度（利用しにくい制度）
- ③□慣行（障害のある方の存在を意識していない慣習、文化など）
- ④□観念（障害のある方への偏見など）

合理的配慮とは、多様性、選択肢があること、自己決定ができること。人生を生きていく力をつけていくための教育である。

香川県は学校側が閉鎖的、対応も差別的、支援学校に適さない場面の対応もある等の事例が紹介された。県内のひきこもりの実態は不明である。（内閣府でも厚労省の統計でもすべて推計であること。）



「ひきこもり支援セミナー」の様子

（撮影 こまどりの会 太田氏）



② 2月7日（土）13：00～ 松山の「ひきこもり支援セミナー」の感想（Ta氏）

1部

ポパイの会会員、ひきこもりサポーターでもある3者による講演。

ひきこもりになった原因、どのようにしてひきこもりから脱したか、社会参加ができるようになったかの話であった。貴重な体験談に約 150 人の参加者が、熱心に聞き入っていた。ひきこもり家族にとって経験者の支援は大変貴重であり、期待できる支援であるので今後よろしくお願ひしたい。

2部

境先生の講演

認知行動療法によってひきこもり若者のやる気を引き出すという講演であった
ひきこもり状態からの回復過程における行動や結果で生じるメリットやデメリットのメカニズム、デメリットを避ける方法、クラフトを利用した家族機能回復、関係回復の方法の解説
ひきこもり本人とのポジティブなコミュニケーションスキルや、家族や若者、コミュニティーづくりの段階を追った支援方法などが紹介。ポジティブな感情を持って対応するのが必要。

3部

3つの分科会

- 境先生と家族会

子どもの様子、気になる行動、それに対する対応方法が話された。先生と直接話すことにより、貴重な体験となった。

- 本人、脱ひきこもり者、ピアサポーター

- 役員の会

③ 2月8日（日）椎茸栽培の感想（To氏）

東條さんのご主人が指導

くぬぎの木を1メートルの長さに切って、50本ぐらいに電気ドリルで穴を開けて菌を植え付けた。2年たったら、椎茸が出てくる。

12人の参加（家族、若者）

作業終了後、こだわりうどん「山」へ行った。

④ 祝儀袋の作成について（H氏）

居場所に若者、家族が出てこられるように、定期的に居場所を開放するために、居場所で会員有志が内職（在宅ワーク）をしてはという意見を受けて香川県労働政策課に連絡。水引を使った金封の作成の仕事があった。担当者に連絡をし、2月7日に指導、打ち合わせに来ていただいた。10名が集まった。すぐには収入には結びつかないが第一目的である居場所の定期的開放には繋げたい。

⑤ ひきこもり家族の集いの感想（I氏）

2月12日（木）14:00～ 小豆総合事務所であった

参加者は職員3名、他4名。自分の子どものこと、オリーブの会の話、オリーブの会で自分の活動を話した。

53才当当事者。親が高齢、父親が、亡くなって困っている相談を受けた。

小豆島は 閉鎖的

ひきこもり、障害は隠す傾向。集まれる場所があるといいのではないかな。

オリーブの会で今後何をしていくか考えていることを提起された。

- ・今年是全国大会の成功。

- ・ネットワークづくりが必要ではないか。

- ・ひきこもりと生活困窮者自立支援法は隣接した問題。

- ・東近江市の生活困窮者自立支援法のモデル事業についての成功例が示された。これを参考に相談事業をしてはどうか。

- ・ひきこもりの解決に向けての手立てを考えていかななくてはならないのではないかな。一つ一つ個別に。

- ・ひきこもりの実態調査が必要ではないか。

Q、小豆島は同窓会などは活発だが、都合の悪いことは隠そうとする。障害者と健常者は紙一重なので実態調査が必要。

- A. 生活保護世帯は戦前と同様の数になっている。さらに悪くなる可能性がある。

3. 秦氏の講話（鬼は外、福は内）

自分は自己愛性パーソナリティー障害であるという見立てをした私は、それに関してネットで検索し、その研究の第一人者であるハインツ・コフトや関連著書が多数ある岡田尊司という精神科医の書籍を購入し、色々と調べるうち、パーソナリティー障害を持つ人の特徴として、「部分対象関係（妄想一分裂態勢）に退行し易い」ということを知りました。「部分対象関係（妄想一分裂態勢）」とは、女性精神分析家のメラニー・クラインが「対象関係論」で打ち出した概念で、今度はそれに関連した書籍を購入、その理解を進めると、それは私の対人関係に非常によく当てはまるものだと気づき、自分でも驚きました。

「妄想一分裂態勢」とは、「鬼（不安）は外！ 福（安心）は内！」というような調子で、自身の抱える不安を外部に帰属させてしまう心の在り方です。人は何かしらの「不安」を抱えて生きています。だからこそ他人の「不安」に共感し、思いやりを持って接することが出来るのですが、「終身雇用」や「安心して働ける社会」というスローガンが象徴するように、日本では「不安」は「悪」であり、対峙するよりも排除する傾向が強く、私が育った時代・環境でも、「不安」は共感どころか非難の対象でしか無く、「良い大学」に合格することで、「不安」とは無縁な「良い人生」が送れると信じ込まされてきました。しかし、排除された「不安」は、外部へと投影され、「迫害不安」としてその人を襲います。そうすると、人間関係や様々な問題に対する現実的対処に齟齬を来し、私の場合、ひきこもりを招きました。昨年名古屋大会は私が25年前に排出した鬼を「抑うつ不安」として自身の内へ回収する辛い旅でもありましたが、そういう作業をして行かないと私はまたひきこもるでしょう。

Q. 自分がひきこもりであると気が付くきっかけは？

A. 偶然であるが、情報に触れること。ネットで調べたり本を読んだりした。刺激を与えることが必要ではないか。モンキークリニックというインターネットのサイトから入った。臨床心理士が書いている。大変参考になった。ひきこもりというキーワードではいいサイトに当たらない。自分の特徴、共感できない、自己愛的パーソナリティー障害などのピンポイントキーワードでは調べるのが良い。市橋クリニックのサイトも参考になった。

Q. 境界性パーソナリティー障害は自殺企図などがあるが、秦さんはそうではなかったのか？

A. そうではなかった。自分は自殺企図はなかった。自分の心を守るためにパーソナリティー障害の症状が表面に出る。しかし何かで失敗していたら、自分の心を守り切れず、境界性になっていたかもしれない。

Q. ネットで調べるキーワードは？

A. モンキークリニック、市橋クリニック、自己愛性パーソナリティー障害、投影同一化、取り入れ同一化など

4. グループ別話し合い

- 変わらない。
- かわるときは急に変わる。

- 本人のいやなこと、批判的な発言はよくない。他人をほめないこと。
- 同級生の就職などを話題にしない。
- 過去の価値観を捨てると、きっかけができる
- サポーター研修に参加していて月例会は初めて。就職の面接試験の朝、起きてこられなくて2年位ひきこもっている。ゲームと漫画に逃避、会話がなし。近々兄弟の結婚式がある。出席してもよいと言ってくれている。それがきっかけでよい方向に向いてくれればよいと思っている
- 何かのライフイベントがきっかけになることが時々ある。
- 自分がバラを栽培するようになって、朝早く水やりを手伝ってくれる。見学に来てもらってもよいとのこと。そろそろ人恋しくなっている時期かもしれない。同窓会には参加した。カウンセリングの先生もポパイの会の人に訪問をお願いしてはとされている。
- ポパイの会の人々が短時間だけ来てくれた。よい印象だったようだ。

以上



【2015 /3・4 月居場所活動予定】

内 容	月	日	曜日	時 間	担 当
2014 年度第 2 回拡大理事会	3	1	日	10 : 00～12 : 00	川井
第 1 回 KHJ 四国ブロック会議	3	1	日	13 : 30～16 : 30	川井
在宅ワーク準備会	3	3	火	13 : 30～16 : 30	平野・本倉
在宅ワーク準備会 (予定)	3	9日又は10日		13 : 30～16 : 30	平野・本倉
ポパイの会 (活動報告書作成)	3	5	木	13 : 30～16 : 00	森下・加藤
ポパイの会 カラオケ (予定)	3	15	日	13 : 30～16 : 00	森下・加藤
2015 年度第 1 回拡大理事会	4	5	日	13 : 30～16 : 00	川井